

魅力に溢れた美唄の 自然 と 農 と 食 を都市圏の人々に伝えたい!

そんな思いで2022年4月から、経済部農商工連携担当の協力隊として活動させていただいております。 今年度は、主に農家さんと関わらさせて頂きました。

春から秋にかけ実際に畑へお邪魔させて頂き、美唄の農業や生産過程を学ぶことが出来ました。 活動としては、市外道外で開催されるイベントでの農産物・特産物のPRや、

農家さんのお力添えのもと、道外の方々を対象とした農体験ツアーの企画などを行いました。 その中でも2点の活動を、こちらでご紹介させて頂きたいと思います!



_修学旅行生 農業体験 ~



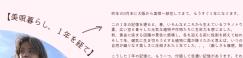
"修学旅行生の農泊体験"の、現場スタッフをさせていただきました。 グリーンツーリズム研究会とは、 複数の農家さんが、美唱らしい自然・文化・人々との交流などを楽しむ。 滞在型の余暇活動に関する調査・研究を行うことを目的として、設置された団体です。 近年行われている活動としては、修学旅行生の農泊体験や 市内で開催されるNOASOBIキャンプでの食材提供です。 修学旅行生の農泊体験では関西圏の高校生が訪れることが多いそうで。 私は久しぶりに関西弁を聞き、とても落ち着きました。(笑) 農が身近でない若者が土に触れ、作物に触れることで 食のありがたみや大変さを再確認するのはもちろん、 農作業を通してクラスメイトや農家さんと仲良くなる様子を見て この取り組みによって生まれる繋がりはずっと続いて欲しいと感じました。

来年度は現場スタッフの枠に留まらず、もっと幅広く活動したいと考えておりま









この1年の記憶を遡ると、春、いろんなところから生えているフキノトウと芝桜に戸惑い。 夏、広い安と青々した元気な植物や作物たちに生命力を感じました。 秋、黄金に染まる田園の景色に感嘆し、冬を迎える前に役割を終えて枯れていく植物に侘び寂びを感じました。 そして冬、健気に生き切ろうとする植物に霜が降りたかと思えば、いつの間にか霜が雪に変わり、あっという間に一面雪景色。 自然が織りなす美しさに圧倒された1年でした、、。(厳しさも痛寒、除雪や雪道運転は、ほんまに大変ですね、、!) こうした1年の記憶に、もう一つ、付額して色速い記憶があります。それはやはり、「食」です。 春にはアスパラ、夏にはハスカップやトウキビなどの夏野菜、秋には新米やカボチャ、冬には根菜類、沢山食べました 季節の移り変わりは気温で感じるものではなく、目で見て感じること。そして、季節のものを食べることだと、美唄で学びました。 自然が教えてくれる風景で、季節を楽しむこと、季節ものを含べることで、今の身体にあった栄養を搭散できること。 こういった自然の摂理に近しい暮らしは、私の心をとても豊かにしました。 自然が近くにあるって、新鮮安全なお野菜やお米がすぐ近くにあるって、とてもいいですね!◎(都会にいると当たり前ではないことです。。。)

私が感じる美唄の魅力、"「自然」と「鹿」と「食」"を、来年度も様々な方々にお伝えできるよう、努めて参ります。 また萎鳴について、まだまだ知らないことが沢山ありますので、併せて勉強していきたいと思っております!

市民の皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします◎

レイベント実施し















9月に、都市圏の方々を対象とした、 美唄の地域資源を巡るツアーを開催しました! 東京、大阪、九州等から参加者が集まり、 3日間にわたり郷土資料館、アルテピアッツァ美唄、宮島沼、 ホワイトデーターセンター、農家さんなどを巡り、 さまざまな要素で美唄市が形成されていることを 感じていただきました。

農業体験では雨風の中枝豆を収穫したり、豆を寄ったりと、 都会ではあまり知ることのできない生産過程を実際に体験し、 改めて第一次産業と私たちは、生きていく上で 切っても切れない関係であることだ、ということを 学ばせていただく機会となりました。

また、アートを通した交流時間も設けさせていただき、 地元事業者さんや高校生、子供たちなど、 参加者の方々には地域の方々との繋がりも 楽しんでいただきました。

初日は美唄の読み方すらままならなかった参加者達が、 「美明最高だね」また絶対来るね。」

と言って笑顔で帰っていく姿を見て、もっと多くの方々に 美唄へ来てほしい!という気持ちがさらに強くなりました。 また来年度も、美唄の魅力を伝えられるような企画を していきたいと考えております!

イベントにご協力くださった皆さん、ありがとうございました。

